



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月13日

上場会社名 京浜急行電鉄株式会社  
 コード番号 9006 URL <https://www.keikyu.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 原田 一之

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 秋山 進一

TEL 045-225-9390

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	239,159	0.6	28,057	5.9	26,338	5.7	17,093	11.5
2019年3月期第3四半期	237,817	1.6	29,823	7.6	27,936	8.5	19,322	12.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 16,289百万円 (13.5%) 2019年3月期第3四半期 18,821百万円 (13.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	62.07	
2019年3月期第3四半期	70.16	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	890,803	281,716	31.5
2019年3月期	891,844	269,839	30.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 280,776百万円 2019年3月期 268,847百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		8.00		8.00	16.00
2020年3月期		8.00			
2020年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	325,000	4.2	28,500	29.0	25,500	32.5	16,000	22.8	58.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	275,760,547 株	2019年3月期	275,760,547 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	374,057 株	2019年3月期	372,565 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	275,387,236 株	2019年3月期3Q	275,389,116 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手について)

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載するとともに、TDnetで同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)の当社グループは、2020年度を最終年度とする「京急グループ中期経営計画」に基づき、各事業を推進するとともに、事業の選択と集中を進めるなど経営の効率化を図り、経営基盤の強化に努めました。また、引き続きすべての事業において安全の徹底を図り、安心、良質なサービスの提供に努めました。

以上の結果、営業収益は2,391億5千9百万円(前年同期比0.6%増)、営業利益は280億5千7百万円(前年同期比5.9%減)、経常利益は263億3千8百万円(前年同期比5.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は170億9千3百万円(前年同期比11.5%減)となりました。

次に、セグメント別の業績についてご報告いたします。

#### 交通事業

鉄道事業では、10月に実施した空港線の加算運賃の引下げおよび台風第19号の影響などによる旅客運輸収入の減少はあったものの、都心方面の輸送人員の増加、消費税増税前の定期券の先買いおよび運輸雑収の増加などもあり、増収となりました。また、輸送人員は前年同期比で1.9%増加(定期2.0%増、定期外1.7%増)となり、羽田空港国内線ターミナル駅および羽田空港国際線ターミナル駅の輸送人員は、前年同期比で7.3%増加(国内線6.6%増、国際線9.7%増)となりました。

バス事業では、川崎鶴見臨港バス(株)において、定期利用者数が増加したものの、京浜急行バス(株)において、一部路線を廃止したことなどにより減収となりました。

以上の結果、営業収益は941億3千3百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益は138億8千7百万円(前年同期比18.2%減)となりました。

#### 不動産事業

不動産販売業では、分譲マンションの売上加え、マンション事業計画用地の売却などにより増収となりました。

不動産賃貸業では、賃貸建物が順調に稼働したことなどにより増収となりました。

以上の結果、営業収益は387億4千1百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益は55億6千万円(前年同期比11.6%増)となりました。

#### レジャー・サービス事業

ビジネスホテル業では、京急EXホテル・京急EXインは、ビジネス、レジャー需要を積極的に取り込むとともに、前期および今期の新館開業が寄与し、増収となりました。

レジャー関連施設業では、京急開発(株)は、前期にリニューアルした天然温泉平和島が順調に推移したことなどにより増収となりました。

以上の結果、営業収益は298億9千6百万円(前年同期比4.7%増)、営業利益は56億1千2百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

#### 流通事業

スーパーマーケット業では、前期に閉店した京急ストア店舗の影響などにより、減収となりました。

以上の結果、営業収益は766億3千2百万円(前年同期比5.4%減)となりましたが、ショッピングセンター業において、耐震補強工事のため休業していたショッピングセンターが通期稼働したほか、スーパーマーケット業において、前期に(株)京急ストアでのれんの減損処理を行ったことによるのれん償却額の減少などにより、営業利益は22億4千9百万円(前年同期比10.9%増)となりました。

#### その他

京急建設(株)および京急電機(株)は、施工した工事の増加などにより増収となりました。

以上の結果、営業収益は347億9千8百万円(前年同期比13.5%増)、営業利益は12億5千2百万円(前年同期比3.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、建物及び構築物の増加などがありますが、受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末と比べ10億4千1百万円減少しました。

負債は、長期前受工事負担金の増加はありましたが、支払手形及び買掛金の減少などにより、前連結会計年度末と比べ129億1千8百万円減少しました。

また、純資産は、剰余金の配当などによる減少はありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末と比べ118億7千6百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における連結業績は概ね想定の範囲内で推移していることから、通期業績見通しについては、2019年5月10日に開示した内容を変更していません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	45,742	41,256
受取手形及び売掛金	26,229	13,042
商品及び製品	2,691	3,048
分譲土地建物	44,606	39,280
仕掛品	591	1,814
原材料及び貯蔵品	281	297
その他	6,616	9,021
貸倒引当金	△27	△125
流動資産合計	126,731	107,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	321,992	331,731
機械装置及び運搬具（純額）	43,816	45,361
土地	172,759	178,202
建設仮勘定	81,677	79,027
その他（純額）	7,153	8,152
有形固定資産合計	627,399	642,474
無形固定資産	5,827	6,586
投資その他の資産		
投資有価証券	77,849	78,072
長期貸付金	1,100	1,004
繰延税金資産	6,130	6,204
退職給付に係る資産	24,593	25,749
その他	22,367	23,228
貸倒引当金	△154	△153
投資その他の資産合計	131,886	134,106
固定資産合計	765,113	783,168
資産合計	891,844	890,803

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,193	26,263
短期借入金	125,637	114,013
コマーシャル・ペーパー	10,000	10,000
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	7,279	2,962
前受金	5,056	7,662
賞与引当金	1,485	738
役員賞与引当金	112	—
災害損失引当金	290	290
その他の引当金	243	72
その他	32,281	44,653
流動負債合計	221,579	216,657
固定負債		
社債	105,000	110,000
長期借入金	189,211	180,109
繰延税金負債	11,884	11,906
役員退職慰労引当金	439	421
退職給付に係る負債	10,608	10,829
長期前受工事負担金	56,155	61,660
その他	27,126	17,501
固定負債合計	400,425	392,429
負債合計	622,005	609,086
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	43,738	43,738
資本剰余金	44,158	44,158
利益剰余金	160,900	173,586
自己株式	△656	△659
株主資本合計	248,141	260,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,063	16,882
為替換算調整勘定	△10	△58
退職給付に係る調整累計額	3,653	3,126
その他の包括利益累計額合計	20,705	19,951
非支配株主持分	992	939
純資産合計	269,839	281,716
負債純資産合計	891,844	890,803

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
営業収益	237,817	239,159
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	180,157	182,296
販売費及び一般管理費	27,836	28,805
営業費合計	207,994	211,101
営業利益	29,823	28,057
営業外収益		
受取利息	56	57
受取配当金	770	809
持分法による投資利益	537	501
その他	500	502
営業外収益合計	1,863	1,871
営業外費用		
支払利息	3,339	3,120
その他	411	469
営業外費用合計	3,751	3,589
経常利益	27,936	26,338
特別利益		
工事負担金等受入額	484	620
固定資産売却益	160	253
投資有価証券売却益	400	—
その他	94	11
特別利益合計	1,140	885
特別損失		
支払補償費	—	743
固定資産圧縮損	484	620
固定資産除却損	—	614
減損損失	—	312
投資有価証券評価損	421	—
災害損失引当金繰入額	300	—
その他	79	14
特別損失合計	1,286	2,306
税金等調整前四半期純利益	27,790	24,917
法人税、住民税及び事業税	8,571	7,589
法人税等調整額	△102	277
法人税等合計	8,468	7,866
四半期純利益	19,321	17,050
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△43
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,322	17,093

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	19,321	17,050
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	716	△180
為替換算調整勘定	△16	△53
退職給付に係る調整額	△1,200	△526
その他の包括利益合計	△500	△760
四半期包括利益	18,821	16,289
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,821	16,338
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△48

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	不動産事業	レジジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	92,743	30,435	24,779	79,530	10,328	237,817	—	237,817
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,522	5,331	3,781	1,439	20,327	32,403	△32,403	—
計	94,265	35,767	28,560	80,970	30,655	270,220	△32,403	237,817
セグメント利益	16,985	4,983	5,479	2,028	1,205	30,682	△859	29,823

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	不動産事業	レジジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	92,543	33,604	25,456	75,624	11,931	239,159	—	239,159
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,590	5,136	4,440	1,008	22,867	35,042	△35,042	—
計	94,133	38,741	29,896	76,632	34,798	274,201	△35,042	239,159
セグメント利益	13,887	5,560	5,612	2,249	1,252	28,562	△504	28,057

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。